

教育目標

地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成

めざす児童生徒像

明るく	}	}	ふれあう子
仲よく			はげましあう子
元気よく			みがきあう子

今年度の重点事項

家庭との連携

- ・「個別の支援計画」の活用
- ・進路地域生活ハンドブック（進路の手引き）の活用
- ・外部専門家による支援の共有
- ・地域余暇活動、ミニ学校展・作品展
- ・地域の公民館活動等への参画
- ・同窓会・おやじの会の充実
- ・PTA 活動の活性化
- ・食育の推進

1 豊かな教育のある学校の実現

- (1) 個別の指導計画に基づいた授業の評価・改善を行い、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を充実する。
- (2) 児童生徒の自立と社会参加を目指し、キャリア教育の視点で小中高を貫く教育課程を実践する。
- (3) 授業研究を推進し、教師の指導力や専門性の向上を図る。
- (4) 外部専門家の支援を活かした授業改善により、自立活動の充実を図る。
- (5) ICT機器の効果的な活用により、障害に応じた学びを拡充する。

2 豊かな地域生活への支援

- (1) 交流及び共同学習（学校間、居住地校）や地域との交流活動を計画的、組織的、継続的に行う。
- (2) 出前ボランティア養成講座、花いっぱいプロジェクト、地域清掃活動等の地域貢献活動を積極的に行い、センター的機能を含め、地域に必要とされる学校を目指す。
- (3) 「みどりっこ夏まつり」を地域と共に行い、交流の機会とするとともに、児童生徒の主体的な学習を推進する機会とする。
- (4) 卒業後の地域での生活が豊かになるよう、地域での余暇活動等へ積極的に参加し、つながりを深める。
- (5) 進路希望の実現を図るとともに、同窓会や青年学級等の卒業生への支援の充実を図る。

3 総合教育センターとの連携の推進

- (1) 教育センターと連携した授業づくりを推進し、その成果を県内外へ発信する。
- (2) 教育センター研修講座による特別支援教育の理解啓発を図る。
- (3) 教育センターの施設利活用と日常的な交流を推進する。

4 児童生徒の安全安心と健康な生活の確立

- あいさつのある、元気な学校
- 校内外の美化に努める、きれいな学校
- 健やかな体と心を育む学校

- (1) 安全教育、防災教育を推進する。
- (2) 緊急時対応マニュアルを徹底する。
- (3) 保護者と連携し、基本的な生活習慣の確立を図る。

地域・関係機関との協働

- ・読書活動の充実
- ・部活動の充実
- ・出前ボランティア養成講座開催（地域、高校）
- ・花いっぱいプロジェクト
- ・わくわくサークル（青年学級）
- ・学校後援会の充実
- ・センター的機能：地域支援部通信「アシスト」発行
- ・地域向け広報「ふれあい」発行
- ・地区連携協議会
- ・研究成果の発信HPによる発信
- ・地域と合同の避難訓練
- ・追分地区の子供を守る会